

外国人実習生のビジネスモデル 親日国ミャンマーに絞った展開

(株)KDNコーポレーション



日本の建築現場を再現した訓練施設で職人の育成が行われる

住設機器・建築資材の配送からその施工まで「物流と施工の一体（物工一体）」で請負うビジネスモデルを確立させた、(株)KDNコーポレーション（埼玉県戸田市、神田充社長）は、昭和39年の創業から約60年の間に成熟させた現場配送技術をさらに進化させ、大手住設や大手家具店と連携して、現場調査・資材保管・配送・施工・廃材回収までを自社のドライバリーや職人が手掛けるワンストップサービスを展開。さらに、リフォーム工事や建て方工事などの施工分野でも同様のサービスを手掛けるようになった。

また、同社は顧客である、建築・建材・プレカット業界において人手不足が深刻化している事を受け、自社で外国人実習生を積極的に採用し、施工の請負事業を2014年に計画。外国人実習生の国籍については、親日国で将来的に実習生が大幅に増加すると予想されているミャンマーに絞ることにした。

また、ミャンマー国内の建築技能者育成を目的とした、ODA事業「日本水準の建築技能者育成プログラム」を運営している。この